2014.10

SRT

取扱説明書

保存用

●：本製品をお買い上げいただきありがとうございました。器具をご使用になる前に必ずお読みの上、正しくご使用ください。また本書はご使用される方がいつでも確認できる様、必ず保管してください。

⚠ 器具を安全にお使いいただくための取り扱い注意事項

■ 施工上のご注意

- 器具の 施工 には電気工事が必要です。必ず工事店、電気店（有資格者）に依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。
- 器具を取り付ける場所が器具重量及び、保守点検に十分耐えられるか確認ください。強度不足だと火災、感電、落下の原因になります。
- 収納部、壁面及び密閉された場所などでの取り付けで許容温度以上の温度上昇がある場合、LEDの短寿命、不点灯、故障の原因、または電線の劣化など の原因になります。器具との間隔を十分にとり、空気の循環のための放熱穴等を設けてください。
- 器具を並列に取り付ける場合には器具同士の間隔をとってください。熱干渉により照度がおちたり、短寿命、不点灯、故障の原因になります。
- プラグ、コネクタ 接続点や器具コードを引っ張ったり、挟んだりしないでください。破損の上、過熱、火災、感電の原因になります。
- 濡れた手でプラグやコネクタ を抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 冷暖房機器、火気などの上、または近くに器具の取り付けはしないでください。熱により変形、落下、火災の原因になります。
- 器具の改造、分解はしないでください。起動方式の変更、部品追加は禁止です。販売後の改造については保証していません。改造後の事故、不都合については改造、使用者側で対処してください。
- 設置場所によって器具の電磁波でTVやラジオなどの音響、映像機器、OA機器に影響が起きる場合がありますのでご注意ください。雑音が入る場合は器 具を機器から十分に離してください。医療機器についてもご使用の前に必ず確認ください。
- 交換の際は本体ごと交換してください。LED基板、素子単体での交換はできません。

■ ご使用上の注意

- 器具個別の取扱説明書や本体表示を必ずお読みの上、正しくお使いください。間違った使用をすると火災、感電、落下の原因になります。
- 陳列 物照射用、広告灯用器具です。一般家庭 やオフィスにおいて長時間、人に向けて照射する目的に使用しないでください。
- 器具の改造、分解はしないでください。火災、感電、落下の原因になります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。電源電圧が高すぎたり、低すぎると器具内部部品が過熱し焼損したり、LEDの不点灯、短寿命 の原因になります。
- 周囲温度5℃～35℃以内、湿度85%以下の環境で使用してください。この範囲をこえると器具の火災・落下・変色・変形・点灯不良の原因になります。
- 油煙、塵埃の多い場所、振動、衝撃、腐食性ガス、可燃性ガスの影響を受ける場所での使用はしないでください。火災、感電、落下などの原因になります。
- 特殊な用途（医療用、写真撮影用、乗物用、信号用など）に使用しないでください。火災、感電、落下、ノイズによる事故の原因になります。
- 器具に荷重をかけたり、布や紙等の燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災、変形、変色の原因になります。
- 屋内専用器具です。浴室、屋外など湿気、水気のあるところ、雨のかかるところには使用しないでください。感電、漏電のおそれがあります。
- 器具の隙間や穴などに金属類を差し込まないでください。電源部に金属が触れて感電の原因になります。
- 器具に殺虫剤、洗剤などの薬品を噴射しないでください。シンナーなどで拭かないでください。器具の火災、変形、変色の原因になります。
- LEDは発光色や明るさがバラつく場合がありますのでご了承ください。カタログ表記の照度、配光、色温度、消費電力などは参考値であり、その値を保証するものではありません。目安としてお考えください。
- LEDの寿命について、当製品では点灯初期に測定した光束が70%に低下するまでの総点灯時間とさせて頂きます。これらはあくまで設計寿命であり、この寿命を保証するものではありません

■ 定期点検のおすすめ

- 器具の寿命は使用条件（周囲温度、湿度、電源電圧、点灯時間、汚損・振動など）によって大きく影響されます。一律に規定することは困難ですがLED 部品に限らず器具部品にはそれぞれ寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行している可能性があります。少しでも長く御愛用いただけるように定期的に点検してください。
  また異常が見られた場合は必ず販売店にご相談ください。

■ お手入れの方法について

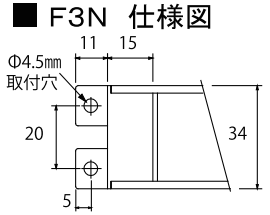
- 使用条件を守り、適正な使用により故障、事故、火災などを未然に防ぐことができます。またお手入れ、清掃で、より器具の寿命劣化を防ぐことも可能 です。その為にも半年に一度の清掃をおすすめします。
- 清掃、お手入れの際は必ず電源を切っておこなってください。通電状態での作業は感電、故障の原因になります。
- 器具内など電気の通る部分には水、液体、薬品等はつけないようにしてください。
- 外装部分のヨゴレ等は少量の水、または中性洗剤を用いて軟らかい布で軽くふきとってください。乾いた布などで拭くと静電気がおこり、ホコリがつきやすくなります。また、シンナー・アルコールなどは使用しないでください。変形、火災、故障の原因になります。
- 蓄積されたホコリで熱が逃げない場合、火災、事故の原因になります。ハタキ、やわらかいブラシ等でこまめにホコリを落としてください。

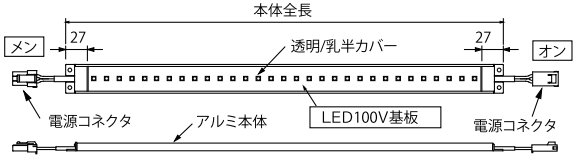
LED100V フラットシリーズ

F3N［陳列物照射用、広告灯用器具］

［製造元］ SRT

■ F3N 仕様図





①LED光源色

LED色	平均色温度
D 昼光色	6500k
N 昼白色	5000k
※W 白色	4000k
※WW 温白色	3500k
L 電球色	3000k
※L2 電球色2	2700k

②カバータイプ

C	透明カバー
N	乳半カバー

F3N 1134 D C

- F3N：器具記号
- 1134：器具全長
- D：①LED光源色
- C：②カバータイプ

※は受注生産品です。発注の際は納期の確認お願いいたします。
※LEDにはバラツキがあるため、発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
（データは平均値を表記しています。）

■ LEDフラット照明　F３N　（定格 AC100V　50/60Hz）［受注生産品］

型　番	本体全長（mm）	素子数（粒）	入力電流（A）	入力電力（W）	連結合計台数（台）
F3N　354 □□［受］	354	20	0.06	6.0	20
F3N　444 □□［受］	444	26	0.06	6.0	20
F3N　504 □□［受］	504	30	0.06	6.0	20
F3N　654 □□［受］	654	40	0.12	12.0	10
F3N　834 □□［受］	834	52	0.12	12.0	10
F3N　1134 □□［受］	1134	72	0.18	18.0	6

■ 取付施工方法

①：両端の取付け座に付属の取り付けビスで確実に取り付けて下さい。

⚠注意

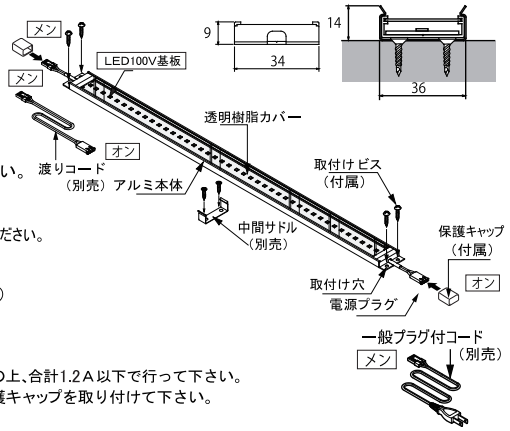
取り付けは必ず電源を切って行って下さい。
感電・ショートの原因になります。

器具が人体に直接触れる場所に設置しないでください。
感電・故障の原因になります。

②：本体電源 コネクタに一般プラグ付コード（別売）を差し込で通電してください。

⚠注意

器具同士の連結は各器具の入力電流を確認の上、合計1.2Ａ以下で行って下さい。
又、接続しないコネクタには必ず付属の保護キャップを取り付けて下さい。



■ 配線について

■:電気工事(有資格者)にて配線のこと 電流入力方向の確認、連結台数(1.2A)を超えないように注意してください。必ず 配線及び器具の固定を行なって ください。

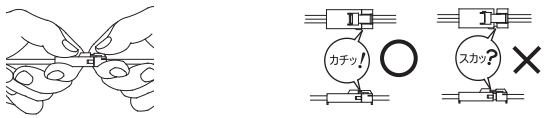
電気工事士

■ 連結コネクタ取扱いについて

注意

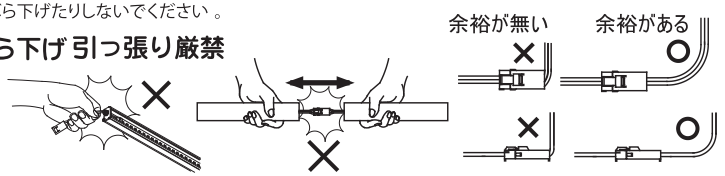
■:器具にある連結用のコネクタは機器内、ケース内専用のコネクタです。連結後、接合部分に力が加わる事を前提とした目的の什器、造作物では使用しないでください。また、繰り返し脱着の出来ることを前提に製造されていません。通電状態での脱着作業はスパーク(発火)等の危険性、性能不良に繋がりますので必ず主電源を切り作業をおこなってください 。

① コネクタは「カチッ」と音がするまで確実に押込んでください 。※音がしない場合は繰り返しの脱着で樹脂ストッパーが磨耗している場合がありますので,使用を中止して下さい 。

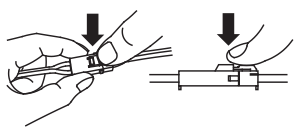


② 接合後、接合部分、コネクタ部品に突っ張り、引っ張りなどの無理な力が掛からない様に電線にゆるみを持たせるなどの処置をしてください。連結した器具同士を引っ張りコネクタ部分、電源コードを持ってぶら下げたりしないでください 。

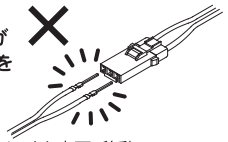
ぶら下げ 引っ張り厳禁



③ 接合部を外す場合は図の矢印箇所を押して確実に外してください。電線を引っ張ったり接合部に無理な力が掛かると分解破壊され、スパーク(発火)等の危険性に繋がります。

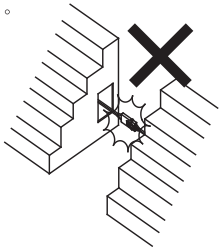


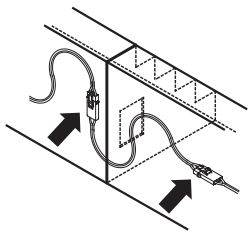
コネクタから電線の端子が抜けた場合はすぐに使用を中止してください。



④ コネクタを連結したまま、組み合わせた什器・看板・アクリルＢＯＸ等のレイアウト変更、移動は行なわないで下さい。必ず主電源を切り、接合部を外して単体で移動する様お願いします。又、一般の方がコネクタに直接触れない様に延長コードなどでゆるみを持たせ機器内、ケース内に納めてください 。

注意



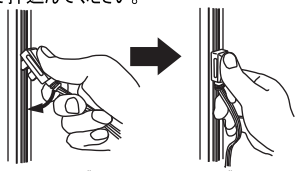


コネクタ配線したままレイアウト変更、什器移動は厳禁

延長コードを使用しコードにゆるみを持たせ接合部はケース内に納める。

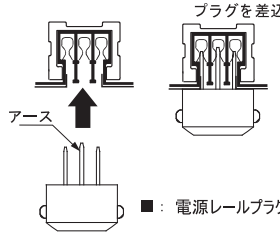
■ 電源レール用プラグ付コードの場合

■:電源プラグを差し込む場合はプラグ頭部を持ってレール溝部分に差し込んでください。最後に手でしっかりと奥まで押込んでください。



■:電源レール断面

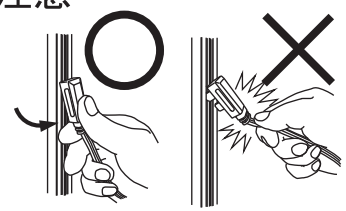
■: 電源レール断面 にプラグを差込んだ状態



■: 電源レールプラグ

注意

■:電源プラグを抜く場合はプラグ頭部を持ちこじる様にゆっくり金具部分を抜いてください。コード部分だけを持って絶対に外さないで下さい。



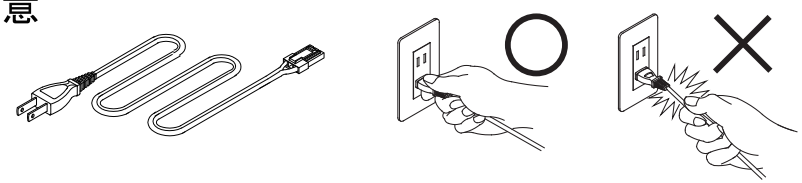
プラグを差し込む際 、中央のアース刃を中央レールに合わせて、真直ぐに確実に差し込んで下さい。

プラグを 電源レール に差し込む場合
又、取り外す場合は必ずプラグ本体部分を持って取り外してください。コードだけを持って外すとコードの破損 、感電の原因になります。

■ 一般プラグ付コードの場合

注意

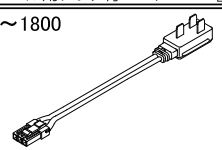
電源コード・渡りコードをコンセントに差す場合や抜く場合は必ずプラグ及びコネクタ部分を持って行って下さい。コードを持って抜くとコードの切断・感電・漏電の原因になります。



取付けパーツ
(別売)
配線パーツ
(別売)

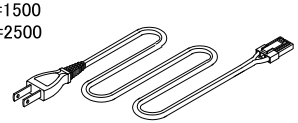
■電源レール用プラグ付コード CPS

L=30～1800



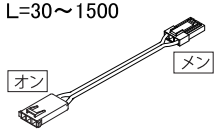
■一般プラグ付コード DGP

L=1500
L=2500



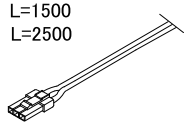
■延長コード WR

L=30～1500



■渡りコード片側カットタイプ WR

L=1500
L=2500



■F3N用中間サドル F3C

(2個1セット)